**平成30年度（岡山大会）の一般口演の演題募集要項**

■応募資格

1)筆頭演者は日本良導絡自律神経学会の正会員、海外会員、準会員に限る（なお、筆頭演者は1人1題とする）。なお、学会または主催者からの依頼による場合は例外とする。

2)共同発表者は正会員、海外会員、準会員、学生会員および単年度会員（その年度の発表にのみ限定、登録費用1回5,000円とする）。

3)外国語での発表は基本的に原語で行う。日本語の翻訳発表を行う場合は翻訳責任者が行い、抄録、スライド、発表原稿の総てにおいて筆頭演者と同等の責任を有する。

■応募内容

　良導絡に関係する基礎研究・臨床研究・調査・教育などであること。

　なお、個人情報の保護、倫理面での配慮、利益相反などに関する事項には十分に注意を払うこと。

■応募期間

　1)演題名、発表者に関して

　　平成30年7月15日（日）より平成30年7月31日（火）**（必着）**まで。

　2)抄録原稿

　　平成30年7月15日（日）より平成30年8月31日（金）**（必着）**まで。

　　なお、抄録締め切り後の演題登録は受付できませんのでご了承下さい。

　　抄録の受理はメールにて応募者に受理の連絡を致します。

　3)査読に関して

　　原則として抄録、発表原稿も査読を行い、訂正が必要な場合はメールで連絡致し

ます。なお、査読内容に関しては論文査読規定に準ずる。

　4）発表パワーポイント

　　平成30年7月15日（日）より平成30年9月21日（金）**（必着）**まで。

■応募先・方法

　日本良導絡自律神経学会ホームページ学術大会演題・抄録提出用アカウント（[congress@jsrm.gr.jp](mailto:congress@jsrm.gr.jp)）　宛に抄録原稿作成上の注意事項に従ってメールで応募して下さい。

文字化けの可能性があるため必ずご自身でチェックした後に、打ち出した原稿も「一般口演投稿」とご記入の上、下記にお送り下さい。

〒210-0023　神奈川県川崎市川崎区小川町7-1-606経絡道川崎治療院内一般口演投稿係

電話044-246-9266

なお、インターネット投稿が難しい場合、投稿に関するご質問も学術部迄ご相談下さい。

学術部長　桑原俊之　電話　044-246-9266　Ｅメール　info@keirakudou.jp

■発表形式および発表画像の提出期限

　一般口演：マイクロソフトのパワーポイント10枚以内（動画はご相談ください）

■演題の採否

　演題の採否は大会会長が決定し、その後に発表日時と会場などを通知致します。

　なお、大会会長は抄録原稿の訂正加除を勧告することができる。また、抄録の著作権は、日本良導絡自律神経学会雑誌の投稿規定に準じて学会に委譲していただきます。

■一般口演演題**12**題予定

　［抄録原稿形式］：原稿用紙400字詰め2枚以内に演題・所属・氏名・キーワード5

つ以内・目的・方法・考察・結語をまとめて下さい。演題・抄録・発表スライドは

本部ホームページのメールアドレス（[congress@jsrm.gr.jp](mailto:congress@jsrm.gr.jp)）宛にメール送信下さい。

■発表当日のお願い

　なお、発表当日に受付にて、発表される1時間前までに来場されて、試写確認を行って下さい。また、当日の差し替えはご遠慮下さい。

口演時間は発表が8分、質疑応答は5分です。発表は時間厳守でお願い致します。

（発表終了前1分：ベル1回、発表終了時：ベル2回、質疑応答終了1分前：

ベル1回、質疑応答終了時：ベル3回）

なお、一般口演の抄録作成上の注意事項は次をご参照ください。

**一般口演抄録作成上の注意事項**

　原則として、例年通り編集形式を踏襲していきます。下記の抄録例を参考にして下さい。査読後の抄録は必要に応じてフォント、大きさ、行数などは変更する場合があるが、原則として本文はそのまま抄録集として本学会のホームページで公開し、学術部が作成した抄録集は学術大会の開催地において参加者に当日配布する。

なお、ヘッダー部分には下記の記載が入ります。

**一般口演①　○月○日（　）○階○会場　○：○○～○：○○　座長：○○、○○**

1）抄録は現代かなづかいで横書きとし、MS明朝、10.5　全角で、数字や記号は半角

で、専門用語以外は常用漢字新かなづかいで楷書で書き、欧文はCentury，10.5　半角で活字体として、文字数は600字から800字以内に収めて下さい。

良導点および良導絡については良導絡表記を優先し、経絡名や経穴名は補足の形をとる。

　　　例：H64（合谷）、H6（大腸良導絡）

欧文も同様で、経穴名や経絡名はWHO表記を補足の形とする。

　　　例：H64(LI4)、H6(LI)

2）第1項はタイトルおよびサブタイトルとし、なるべく短くする。

次の所属機関（正式名称）、所属支部名と筆頭演者、共同発表者を記入する。

なお、発表者が複数の場合で所属が異なる場合は番号を付記する。

また、発表者が複数の場合は筆頭演者の前に○印を付記する。

　　　例：　　　　良導絡で改善した一例

　　　　　　　　　―　○○症候群　―

　　　　　　　　　　　　　××大学医学部生理学教室1）　△△病院麻酔科2）

　　　　　　　　　　　　　　　○×支部　　○中谷　太郎1）2）良導絡　二郎2）

3）抄録は［目的］、［方法］、［結果］、［考察］、［結語］に分けて記載して下さい。ただ

し、症例報告では［方法］を［症例］として下さい。

4）キーワードは抄録内容を正確に代表するもので、なるべく短い用語を使用し、類似

した用語の並列は避けて3～5字以内にして下さい。